

# 令和5年度（2023年度） 第2回 熊本市社会教育委員会議資料

## 目 次

ページ

令和5年度熊本市社会教育委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### 【 議 事 】

- (1) 学校・家庭・地域の連携協力推進事業等の実施について・・ 2
- (2) 様々な立場の人たちが生涯学習を行うには（自由討議）・・ 13

### 【 報 告 】

- (1) 令和6年熊本市はたちの記念式典の報告について
- (2) 第2次熊本市生涯学習推進計画の最終案について・・・・別冊1

### 【 参 考 】

- ・参考資料（関係法令）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別冊2

熊本市社会教育委員 名簿

区 分	氏 名	所属団体・役職等	備 考
学識経験者	八幡 彩子	国立大学法人 熊本大学大学院教育学研究科・教授	再任
社会教育	加藤 貴司	熊本市地域公民館連絡協議会 会長	再任
社会教育	田川 智恵子	熊本市地域婦人会連絡協議会 弓削校区会長	新任
社会教育	中川 保敬	熊本市スポーツ協会 副理事長	新任
社会教育	原 幸代子	熊本県文化協会 副会長	新任
社会教育	林田 真	熊日サービス開発(株)熊日生涯学習プラザ 取締役事業本部長	新任
社会教育	萱野 晃	社会福祉法人熊本市社会福祉協議会 常務理事	新任
学校教育	杉本 誉弘	熊本市小学校校長会	新任
社会教育	濱本 伸司	市民公募	新任

任期：令和5年（2023年）6月1日から令和7年（2025年）5月31日まで

## 学校・家庭・地域の連携協力推進事業等の実施について

### 1 社会教育委員会議での検討について

地域と学校の連携・協働体制構築事業及び地域における家庭教育支援基盤構築事業については、文部科学省が定める学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領（令和5年3月27日付け文部科学省総合教育政策局長・初等中等教育局長決定）に基づき実施しており、社会教育委員会議では、地域学校協働活動の総合的なあり方や各地域学校協働活動の実施方針等について検討する。

#### ※地域学校協働活動

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動

### 2 地域学校協働推進事業について

#### (1) 概要

幅広い地域の方々の参画により、子どもたちの豊かな人間性を育み、地域を創生する学校内外における活動を一体的に支援するものである。また、本事業により、学校・家庭・地域が連携・協働して、自立的・継続的に子どもを取り巻く課題を解決できる地域社会を目指す。

#### (2) 実施（運営）主体

都道府県、政令指定都市又は中核市（間接補助事業として行う場合は市町村等を含む。また、事業の一部を適当と認められる社会教育団体等に委託して行うことも可能。）

#### (3) 国庫補助率（国庫補助金名）

予算補助1／3（学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）

#### (4) 本市における学校・家庭・地域の連携による地域学校協働活動

放課後や週末等において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する放課後等の支援活動

(ア) 学びたいむ（教育委員会事務局学校教育部指導課）

(イ) 放課後子どもスポーツ教室（経済観光局スポーツ・イベント部スポーツ振興課）

(ウ) 子ども科学・ものづくり教室（教育委員会事務局教育総務部熊本博物館）

※令和6年度（2024年度）は「こども科学・ものづくり教室」

(エ) 子ども講座・子どもチャレンジ公民館（文化市民局市民生活部生涯学習課）

※令和6年度（2024年度）は「こども講座・こどもチャレンジ公民館」

(オ) 放課後学習教室（こども局こども福祉部こども家庭福祉課）

### **3 地域における家庭教育支援基盤構築事業について**

#### **(1) 概要**

家庭や地域と学校との連携・強化を図りつつ、家庭教育支援に関わる地域の多様な人材の養成等を行い、身近な地域における保護者への学習機会の提供や親子参加型行事の実施、相談対応や情報提供等の支援活動の実施に加え、児童虐待の未然防止・早期発見などの対応を含め、支援が行き届きにくい家庭への対応を充実させることにより、地域における家庭教育支援の基盤を構築する。

#### **(2) 実施（運営）主体**

都道府県、政令指定都市又は中核市（間接補助事業として行う場合は市町村等を含む。また、事業の一部を適当と認められる社会教育団体等に委託して行うことも可能。）

#### **(3) 国庫補助率（国庫補助金名）**

予算補助 1 / 3（学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）

#### **(4) 本市における家庭教育支援総合推進事業**

家庭教育支援活動（教育委員会事務局教育総務部地域教育推進課、文化市民局市民生活部生涯学習課）

保護者等への家庭教育に関する情報や学習機会の提供、地域で家庭教育を推進するための人材養成など、全ての親が安心して家庭教育を行うための支援活動

## 令和5年度 学びたいむ（教育委員会事務局学校教育部指導課）

### 1 令和5年度（2023年度）の実施状況について（小学校）

- (1) 目的 児童の学ぶ意欲の向上や学びの習慣化を目指し、基礎学力の定着を図る。
- (2) 実施期間 令和5年4月～令和6年3月
- (3) 実施回数 ・授業日の放課後に、各学校の計画により1回1時間程度  
・長期休業期間中に、各学校の状況に応じて開催
- (4) 実施校数 学びたいむサポーターの活用を希望した学校は16校。（サポーターを活用しない学びたいむ実施校は23校）
- (5) 実施内容 タブレット学習支援アプリ「ドリルパーク」等を活用した学習指導
- (6) 学びたいむサポーターを活用した実施校

実施時期	夏季休業期間	授業日の放課後
実施した学校数	7校	8校

- ・感染防止等の観点から、令和2年度より学生サポーターを活用せず、朝自習や特定曜日の6時間目、また夏季休業期間等を活用し、教職員のみで実施する学校が徐々に増えている。また、サポーター活用を希望したが、見つからない小学校が1校あった。

### (7) 学びたいむ（旧学びノート教室）サポーター登録数（人）

名称	学びノート教室			学びたいむ			
	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
サポーター数	178	176	158	97	70	74	66

### (8) 本年度実施校における課題と工夫（サポーター活用15校）

#### ① 自校における運営上の課題（複数回答）

課題	サポーターの確保	担当職員確保	実施時間	特になし
割合	39%	17%	11%	33%

#### ② 自校におけるサポーター確保の工夫（複数回答）

- 地域の方に直接依頼・交渉。（5）
- 会計年度職員（図書司書・事務補助・学級支援員）に呼びかけ。（3）
- 現在の学びたいむサポーターに継続可能か確認による人員確保。（3）
- 教育実習生に呼びかけ。（2）
- 給食の調理員の方、心のサポート相談員に呼びかけ。（1）
- 職員の家族への呼びかけ。または、本校に勤務していた退職教員への相談。（1）
- 学校評議員の紹介で県立大学の先生からの学生への呼びかけ。（1）
- 前任者（地域住民や自治会関係者）の紹介。（1）

### 2 令和6年度の実施計画について

- ・各学校では、学習支援アプリを中心教材に、市学力調査の復習プリントやつまづき個所を自ら学ぶアプリに加え、データで配付の「学びノート」等を活用し、各学校の実態に応じ、実施回数、実施時期、対象学年等を工夫して実施していく。
- ・平成31年度（2019年度）から、学習支援アプリが4教科（国・社・算・理）で可能となった。今後も、支援を必要とする児童への学びたいむに生かしていく。
- ・サポーター確保のため、令和5年度から学びたいむサポーター募集協力大学を3校から6校に拡大した。大学と連絡を取りながら協力関係をさらに深めていく。
- ・サポーターを確保している学校の工夫を他の学校でも生かせるよう全小学校に周知していく。

## 放課後こどもスポーツ教室（経済観光局スポーツ・イベント部スポーツ振興課）

### 1 事業内容

放課後こどもスポーツ教室事業は、地域住民が自主運営している「総合型地域スポーツクラブ」や「校区体育協会」等が実施主体となり、こども対象のスポーツ教室を行い、こどもたちのスポーツ機会の拡充、地域コミュニティの向上等を目指す。

放課後や休日の学校運動施設を活用することで、こどもたちの安全・安心な居場所づくりを、また同時に地元の総合型地域スポーツクラブや校区体育協会等が教室運営することで、地域住民とこどもたちの交流を図りながら、地域でのこどもたちの学びの場を提供する。

スポーツ教室は、原則として課業日放課後に開催。それぞれの教室で、各種運動・スポーツ・レクリエーション活動等を行う。

- (1) 実施期間                    令和5年（2023年）5月～令和6年（2024年）3月
- (2) 実施場所                   各小学校運動場や体育館
- (3) 対象者                      主として小学3年生
- (4) 募集定員                   各校30名程度
- (5) 実施日等                   年間20回実施、1回2時間程度の活動  
    月曜日放課後実施：富合小・池上小・東町小  
    水曜日放課後実施：画図小
- (6) 参加費                      参加者保険料800円～1000円（参加者負担）

### 2 活動の実際（各教室の主な活動内容）

池上小	フリスビー、工作教室、スポーツ教室（跳び箱）、走り方教室、モルック、Tボール、バドミントン、サッカー、バスケットボール、バレーボール
東町小	陸上、うんてい、ラダー、ボール運動、棒を使った運動、跳び箱、体づくり運動
富合小	スラックライン、ランニング、体幹トレーニング、バレーボール、バスケットボール、長縄跳び、スポーツ鬼ごっこ、ポッチャ、モルック、ドッチボール
画図小	ドッチボール、鬼ごっこ、跳び箱、マット、ボール投げ、コーディネーション、ボールフィーリング、スプリント、バスケットボール、バレーボール



フライングディスク（池上小）



うんてい（東町小）



長縄跳び（富合小）



跳び箱（画図小）

### 3 参加人数(3年生児童数)

	池上小	東町小	富合小	画図小	合計	
参加者(人)	14	28	24	22	88	
在籍数(人)	36	95	134	152	417	
加入率(%)	39%	29%	18%	14%	21%	(R5年度)

### 4 来年度の実施について

- ・スポーツ振興課と運営主体となる総合型地域スポーツクラブ等で協議し、実施校を選定。
- ・本年度からの実施校に加えて、新たに実施校を選定し、実施予定。
- ・スポーツ教室の実施会場である小学校とも協議し、会場使用可能な曜日で実施。
- ・教室の実施回数は年間20回程度を予定。
- ・1学校につき2年間の事業を実施し、その後は総合型地域スポーツクラブ等による自主運営のスポーツ教室へと移行していく。

### 5 自主運営について

- ・2年間の委託事業を終えたら、クラブの自主運営にて教室を継続する方向で勧めている。
- ・市の委託時と同様に、実施会場である小学校と協議し、会場使用可能な曜日で実施予定。(土曜を含む)
- ・参加費は受益者負担となり、募集定員や実施回数、対象学年等を含め、地域の実態等を考慮し、運営主体団体に検討する。

### 6 今後の実施計画

- ・令和6(2024)年度は、継続1校、新規3校で実施予定。

実施校名	担当クラブ	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
東町小学校	東部地域総合型スポーツクラブ	継続2年目	自主運営へ	
富合小学校	NPO法人とみあい総合型クラブ			
画図小学校	画図人			
池上小学校	NPO法人スポレク・エイト	新規1年目	継続2年目	自主運営へ
新規小学校3校(未定)	(調整中)		新規1年目	継続2年目

## 子ども科学・ものづくり教室（教育委員会事務局教育総務部熊本博物館）

### 1 目的

小中学生向けに「科学実験や科学工作（ものづくり）」等の直接体験の場を設け、子どもたちが楽しく活動しながら、自然科学の原理や技術（歴史や伝統文化に関する内容も一部含む）について学ぶ機会を提供する。

### 2 令和5年度(2023年度)の実施状況について(1月末時点)

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行したこともあり、本年度は教室を中止することなく、自由参加型（定員制ではない）も一部復活して開催することができている（ただし、事前応募・定員制が大半を占める）。

1月末時点での実施状況は、19題材：42回の教室を行い（内、塚原歴史民俗資料館で5回）、参加者数は1037人（内：子ども6割）となり前年度実績（1040人）とほぼ並んだところである。

水と空気、光と色、電気と磁力、さまざまな力などをテーマに、NPO団体等との共催事業も継続しており、本年度は半導体教室やプログラミング教室を新設するなど、内容の充実を図っている。

そのほか、市立の公民館や施設、学校からの要請に応じて別途（数回）出前講座も実施し、本事業の周知・拡大に努めている。

教室名	開催日	実施数	対象者	指導者	参加数
① 空気砲ボウリングを楽しもう	4/22(日)	延べ 2回	小中学生	研究員・支援員	27
② ミョウバンの結晶を作ろう	5/ 5(祝)	〃 2回	〃	〃 〃	56
③ 風船CDホバークラフトを作ろう	5/27(土)	〃 2回	〃	〃 〃	18
④ おもしろ実験に挑戦!	6/10(土) 7/23(日)	〃 2回	自由参加	研究員・ものづくりサークル	171
⑤ 箱の中に虹を作ろう	6/24(土) 11/4(土)	〃 3回	小中学生	研究員・支援員	71
⑥ 水中UFOキャッチャーを作ろう	7/ 1(土) 8/20(日)	〃 3回	〃	〃 〃	71
⑦ 宙返りバードを作ろう	7/ 9(日) 9/ 2(土)	〃 3回	〃	〃 〃	57
⑧ 液体窒素実験ショー	7/29(土)	〃 3回	自由参加	学芸員・研究員	111
⑨ 紙バックカメラを作ろう	8/ 5(土) 9/10(日)	〃 2回	小中学生	研究員・支援員	41
⑩ 大気圧と真空の実験ショー	8/12(土)	〃 3回	自由参加	研究員	95
⑪ ウインドカーを作ろう	9/23(土)	1回	小中学生	研究員・支援員	19
⑫ 葉脈標本でしおりを作ろう	10/28(土)	延べ 2回	〃	学芸員・研究員	53
⑬ くるくる回るシャボン玉作り	11/12(日)	〃 2回	〃	研究員・支援員	39
⑭ アンモナイトのレプリカ作り	11/26(日)	〃 2回	〃	学芸員・研究員	44
⑮ 静電気実験ショー	12/ 9(土)	〃 3回	自由参加	研究員	45
⑯ 静電気グッズを作って遊ぼう	12/16(土)	〃 2回	小中学生	研究員・支援員	27
⑰ 活性炭電池を作ろう	1/14(日) 3/10(日)	延べ 2回	〃	〃 〃	36
⑱ 電波教室&ラジオ作り	1/28(日)	1回	〃	研究員 電波適正利用推進員 アマ無線	19
⑲ コイルモーターを作って回そう	1/27(土) 3/16(土)	延べ 2回	〃	研究員・支援員	37
⑳ 銅鏡のレプリカを作ろう	2/10(土)		〃	学芸員・研究員	
㉑ 半導体教室	2/24(土)		〃	研究員・大学	
㉒ 紙バック (Back!) を作ろう	2/25(日)		〃	研究員・支援員	
㉓ 春の体験ミュージアム2024	3/ 2(土)		〃	研究員・大学	
㉔ プログラミング教室	3/20(祝)		〃	〃 〃	
㉕ 紫キャベツ紙で不思議なお絵かき	3/24(土)		〃	研究員・ものづくりサークル	
1月末時点の実績	教室：延べ回数	42回		参加者総数：	1037人

【全：25題材 ※網掛け部分は予定（未実施・未確定分）】

### 3 令和6年度(2024年度)の実施計画について

次年度も、当館及び南区域南町：熊本市塚原歴史民俗資料館（当館所管）を会場に全30回程度の教室を計画中（内、塚原：7回）。

今後も理工担当研究員だけでなく、地質・植物・考古・保存科学担当学芸員とも協力しながら内容の工夫・改善に努める。また、大学・高等専門学校等の教育機関、NPO団体等との連携促進、運営に共同参画できる人材発掘と協働的な取組を一層推進し、多くの児童・生徒の興味・関心を高め、科学的な探究心の育成に寄与する。



# 公民館こども講座（文化市民局市民生活部生涯学習課）

## 1 事業内容

こどもたちにとって充実した休日（土曜・日曜・祝日・長期休業期間）となるように、こどもや親子を対象としたこども講座や公民館開放講座を開催した。

※こども講座：主に小・中学生（親子含む）対象に開催するもの。

※公民館開放事業：公民館施設（ホール・会議室・ロビー等）を開放し、当日受付にて、将棋、お話し会、夏休み学習、大学生企画イベント等を開催するもの。

- (1) 実施時期 令和5年4月～令和6年3月
- (2) 実施日 土・日・祝日及び長期休業期間
- (3) 実施場所 各公民館 等

## 2 実施状況(令和5年12月末時点)

### (1) 概要

各公民館それぞれの環境を活かし多様な講座を開催している。新型コロナの5類移行に伴い、講座数・受講者数ともに増加している。特に受講者数は昨年同時期と比較し約1.7倍となっている。

【参考】令和4年度（年間実績） 講座数235 受講者数3,000人

- (2) 対象者 幼児、小学生、中学生
- (3) 指導者等 各講座講師
- (4) 講座数 268講座
- (5) 受講人数 4,238人

中央区

公民館名	主な講座	講座数	受講者数
中央	こども茶道・科学工作ものづくり教室	35	449
大江	キッズ英会話・体操のお兄さんと体幹遊び	26	456
五福	年長児～3年生のプログラミング講座・こども計量教室	5	50
計		66	955

東区

公民館名	主な講座	講座数	受講者数
東部	親子ものづくり動くおもちゃを作ろう！・クルマまるわかり教室	12	285
託麻	プラネタリウムinたくま・おはなしの部屋	11	194
秋津	小学生「走り方教室」・小学生絵の具の使い方	25	377
計		48	856

西区

公民館名	主な講座	講座数	受講者数
西部	親子でバッククッキング・ハロウィンのお菓子作り	7	143
花園	こども生け花・こども食堂フライングダッチマン	10	450
河内	河内みかん物語・家族でタケノコ掘り	5	95
計		22	688

南区

公民館名	主な講座	講座数	受講者数
南部	夏休み！親子お菓子づくり教室・親子でクリスマスリースを作ろう	20	474
幸田	楽しいだけの運動教室・親子でスーパー竹とんぼ作り	12	144
飽田	Jr. ダンス講座・親子ハーバリウム	8	161
天明	夏休み楽しく学ぶ！キッズアート・親子トランポリン教室	10	81
富合	新幹線の車両所見学・フランス菓子講座	13	220
城南	おいしい！楽しい！お弁当づくり・挑戦！親子でまんがを描こう	22	246
計		85	1,326

北区

公民館名	主な講座	講座数	受講者数
龍田	ジュニアテニス・こども茶道	2	37
清水	こどもお箏・ダンスであそぼう	21	117
北部	尺八を鳴らそう・初心者こども将棋	17	130
植木	お助け！夏休み宿題習字の部・こども走り方（かけっこ）教室	7	129
計		47	413

## 3 今後の事業実施について

令和5年度は5類に移行されたこともあり、新型コロナウイルスの影響は比較的少なかったが、オンライン講座などのコロナ禍で新しく身に着けたノウハウを活用して事業を継続していく。

## こどもチャレンジ公民館（文化市民局市民生活部生涯学習課）

### 1 事業内容

現代のこどもたちのニーズを事業に反映させ、「プランナー」と呼ばれるこどもたちが主役となって、自らイベント等を企画・運営することで、仲間づくりやイベント終了後の達成感・充実感を味わえる貴重な交流体験の機会の提供を図る。

区ごとに実施中心館を一年交代にして、区の特徴を生かしながら事業を実施することで、こどもたちが気軽に利用できる、身近な公民館となるよう取り組んでいく。

- (1) 実施時期 令和5年4月～令和6年3月
- (2) 実施日 土曜・日曜・祝日及び長期休業期間
- (3) 実施場所 各公民館及び館外 等

### 2 実施状況

#### (1) 概要

大学生ボランティア等の支援の下、「プランナー」のこどもたちの思いを生かしたイベントが企画された。季節感を取入れたもの、地域の自然を生かしたものなど趣向を凝らしたイベントで参加者を歓待した。

- (2) 対象者 小学生
- (3) 支援者 公民館社会教育主事及びボランティア等
- (4) 各区の事業（令和5年12月末現在）

■中央区 主担当：五福公民館 支援者：中央区社会教育主事、講師、熊大メイクフレンズ

イベント	期日・期間	場所	内容	受講人数	支援者
笑顔いっぱい！福いっぱい！五福の夏祭り	7月15日	五福まちづくり交流センター4階多目的ホール	ミニゲーム(陣取り、折り返しリレーなど)	30人	14人
楽しい楽しいふゆやっすみ～ゲーム	1月20日	五福まちづくり交流センター4階多目的ホール	ミニゲーム(陣取り、折り返しリレーなど)	40人	17人

■東区 主担当：東部公民館 支援者：東区社会教育主事、講師、防災士、熊大メイクフレンズ

イベント	期日・期間	場所	内容	受講人数	支援者
夏だよ！全員集合！東部なつまつり	7月23日	東部公民館 ホール	ミニゲーム(射的・魚釣り・めいろ・わなげなど)	43人	18人
防災キャンプ	10月7～8日	東部公民館ホール・調理室	防災意識の向上と宿泊訓練	16人	13人
冬だけどアツアツ！東部クリスマス劇場	12月3日	東部公民館 ホール	子供達が主役となってクリスマス劇場を開催	87人	21人

■西区 主担当：河内公民館 支援者：西区社会教育主事、まちづくりセンター・河内公民館職員

イベント	期日・期間	場所	内容	受講人数	支援者
おれんじしょっぷ(河内小・芳野小)	11月11日	城彩苑	地域の特産品の「みかん」と「海苔」を城彩苑で販売・PR	27人	2人

■南区 主担当：富合公民館 支援者：南区社会教育主事、講師

イベント	期日・期間	場所	内容	受講人数	支援者
中無田閘門で側三昧	10月7日	中無田閘門	南区にある中無田閘門で環境学習と水辺遊びを楽しむ	38人	5人
(予定) 雁回山に登ろう	2月10日	雁回山	南区にある雁回山登山を通して、自然に親しむとともに達成感を味わう		

■北区 主担当：植木公民館 支援者：北区社会教育主事・保健科学大学ボランティアサークルRideto NPO法人u&uNスポ植木

イベント	期日・期間	場所	内容	受講人数	支援者
みんなで楽しくハロウィンまつり～お化け屋敷&クジ～	11月5日	視聴覚室	「お化け屋敷」を実施。くじを準備して、集客率を上げる工夫も行った。	49人	5人
みんなで楽しくかわいい箱作り～クリスマスバージョン～	12月24日	研修室	クリスマスプレゼント用の箱作り	9人	3人

### 3 今後の事業実施について

本事業は、平成15年度からの継続事業であり、公民館社会教育主事を中心に大学生やNPO団体等の支援者協力のもと、こどもプランナーが企画会議を経て、イベントを企画・運営する事業として定着している。今後も新型コロナウイルスによる影響を考慮しながら可能な限り事業を実施していく。

## 放課後学習教室（こども家庭福祉課）

### 1 令和5年度（2023年度）の実施状況について

#### （1）目的

こどもの貧困対策の推進の取組として、こどもの将来が家庭の環境で左右されることなく、世代を超えて連鎖することがないように、教職員退職者や大学生等による空き教室を活用した「放課後学習教室」を実施することで、こどもたちの学習の機会の確保と充実、こどもたちの学ぶ意欲の向上や学習の習慣化、基礎学力の定着を図る。

※令和元年度～事業実施

#### （2）実施内容

学校の空き教室を利用し、学校での学習に係る予習及び復習の支援、家庭学習や自主学習の支援、その他、生徒の社会性等の向上に係る支援を行う。

#### （3）実施期間

令和5年6月～令和5年3月（終了月は予定）

#### （4）実施校数

中学校10校

#### （5）指導員

教員退職者（13人）、大学生（2人）

#### （6）実績（令和5年12月末現在）

令和5年度	A中学 校	B中学 校	C中学 校	D中学 校	E中学 校	F中学 校	G中学 校	H中学 校	I中学 校	J中学 校	合計
実施回数	15	26	32	29	14	17	30	55	32	26	276
参加人数	68	668	389	223	55	289	140	906	457	109	3,304

※週2回・1回1時間程度実施

### 2 今後の計画について

- ・令和6年度は2校を加え、12校での実施に向けて調整中。
- ・引き続き、実施校、教育委員会及び退職校長会等の協力を得ながら、こどもたちの学習機会の充実を図る。

# 家庭教育支援活動

(教育委員会事務局教育総務部地域教育推進課・文化市民局市民生活部生涯学習課)

家庭教育は、基本的な生活習慣の習得、自立心の育成、心身の調和のとれた発達などに大きな役割を担うものであるが、家庭環境の多様化や地域社会の変化により、家庭教育力の低下が指摘され、社会全体での支援の必要性が高まっている。

そこで、家庭教育の担い手である親の学びを支援するため、家庭教育に関する学習機会の提供を行うとともに、身近な場所で家庭教育推進を担う地域人材の育成に取り組む。

## 1 事業内容及び実施状況

### (1) 家庭教育推進事業

#### ア 家庭教育セミナー

乳幼児期から高校生までの子どもを持つ親を主な対象として、幼稚園・小中学校やPTA、企業等からの申込みにより講師や進行役を派遣。専門講師による講演会型と、ワークショップ型がある。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度からはオンライン版の家庭教育セミナーも開催している。本年度は、コロナ5類移行後に集合研修が可能になったため、開催を促すために小中校長会、市PTAで周知を図った。また、セミナーのチラシに内容や申し込み方法が詳細にわかるようにQRコードを掲載した。

	R2	R3	R4	R5※
件数	5	7	12	15
参加者数	324	1005	924	1488

※3月までの予定も含む。

テーマ例：家庭で行う躾やルール決め等について、睡眠から生活習慣を見直そう、ネットトラブルに巻き込まれないために 等

#### イ 家庭教育地域リーダーステップアップ研修

平成22～30年度までの家庭教育地域リーダー養成講座修了生のスキルアップと、人材交流による家庭教育支援の広がりを目的として実施。

熊本市教育センターのYouTubeチャンネルを通じ講座を動画配信しており、年間を通して視聴することができる。(R6.1.23時点での合計再生回数2581回)

### (2) 家庭教育学級

保護者が自ら課題を持ち寄って主体的に計画・運営する学習について支援する。

(ア) 開設単位 学校及び幼稚園・保育園

(イ) 実施期間 4月～翌3月

(ウ) 開設学級数 59学級(幼稚園1、小学校51、中学校7) ※昨年度比6増

## 2 今後の事業実施について

### (1) 家庭教育推進事業

#### ア 家庭教育セミナー

新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体等の行事が変化してきている。周知や開催方法等の再考が必要と考えている。各団体等の活動状況の情報を収集し、本セミナーの新しいスタイルを模索する。今後も本セミナーの周知を図るために、市役所ホームページへの掲載や各団体へのチラシの配布を行う。また、教育広報誌「with you」を活用し、学校やPTAでの利用を促していく。

#### イ 家庭教育地域リーダーステップアップ研修

家庭教育地域リーダー養成講座については、令和元年度（2019年度）より休止。

ステップアップ研修は、個々のスキルアップを行うとともに、実践的スキルの獲得ができるよう、講座内容のさらなる充実を図る。また、家庭教育地域リーダー同士のネットワークをさらに強化することで、家庭教育支援活動の広がりを目指す。

### (2) 家庭教育学級

各家庭教育学級において、様々な学習領域や特色ある内容の開催となるよう、学習内容の充実に向けての支援や小・中学校との連携促進を図る。また、運営委員の負担になっている事務手続きについては、実態に応じて支援を行っていく。今後も引き続き、開設がない学校でも、家庭教育に関する保護者の学習機会の場を設定するとともに、開設に向けての働きかけを続けていくようにする。

## 様々な立場の人たちが生涯学習を行うには（自由討議）

本市は第2次熊本市生涯学習推進計画を策定し、生涯学習の推進に取り組むこととしている。本計画では、「孤立を感じている独居高齢者や不登校生徒などが、生涯学習に触れることで不安な思いを解消するなど、人や地域につながるきっかけとなるよう情報を発信していきます。」としている。この情報を発信していくなかで、重要なことや発信手段などについて自由なご意見を伺いたい。

### 【令和6年度に予定しているテーマ】

- ・市民がDXに対応できるよう支援する方法について
- ・民間事業者や大学との連携による取組について
- ・障がいのある人への生涯学習に関する支援について